

山口県文書館Web古文書 第6週

中世の古文書 2

―大内氏の文書―

▽第6週のテーマは「中世の古文書2 ―大内氏の文書―」。中世の山口を本拠とした西国の雄・大内氏の文書を解読してみましよう。解答は次週アップします。

▽政弘の文書は、応仁・文明の乱（一四六七～七八年）に参加するために上洛した際のもので

す。

▽義興の文書は、京都船岡山の合戦（一五一一年）に関するものです。

▽義隆の文書は、安芸国（現、広島県）内の土地を預けた際のもので

七月、倭軍圍下津井
 川、守備別、越後、水同
 去、極見、去、り、り、帝部
 部、陣、攝、如、名、度、而、去、守、官、
 水、出、後、軍、斷、お、後、重、合、氣、
 之、何、傳、年、人、之、去、力、討、之、捕、
 獲、無、一、果、取、之、
 之、
 十、
 西、
 天、野、備、後、

多以善言為勸懲之心合我時

被推手之法忠首臣善惡心

仍以此法因書心成也感拜

受領幸 諸作也法實

斗法沙泥是德所貯雲依

之終也

九月吉 義真 如

玉璽齋讀法守夜

藝洲佐東郡河那村

式百七拾九貫文

伴且節跡
伴付別紙是

可須途之狀此件

癸十三年正月廿六日
實奉氣
印

完
女
藏
身
友